

2学期終業式挨拶

皆さんおはようございます。

2学期の終業式にあたり生徒の皆さんに「感謝」を伝えるということをお話したいと思います。

「自分以外の全員に対して“感謝”を伝える」というグループ研修がありました。一人について一枚ずつメモに記していき、最後に皆の前で読み上げられるのです。特別なものではありません。例えば『朝の挨拶がすがすがしい』『笑顔に癒される』『仕事を手伝ってくれてありがとう』といったものです。

読み上げられるたびに拍手が起こり、笑顔が広がりました。

感謝の言葉を読み上げられて嫌な気持ちになる人はいないでしょう。感謝するという行為は、相手の言葉や振る舞いを貴重なものと捉え、心の中で大切にしてきた証だからではないでしょうか。

スイスの思想家ヒルティは「この世の小さいものに注目せよ。それは我々の人生を、より豊かにし、より満ち足りたものにする」と言っています。

振り返れば、日々の生活の中で「当たり前」のものなど何一つありません。どんなささいなことでも、感謝を言葉にして伝えていけば、その心が自分の周りを変え、人生を潤していくのです。

一年の締めくくりの師走です。皆さんも是非、言葉にして感謝の気持ちを伝えてみてください。

寒い季節でもありますが、体調管理には気をつけて3学期の始業式には元気に集いましょう。

平成30年12月21日 大阪府立春日丘高等学校長 福留 明富